

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ 2017.1
January
No.102

｜特集｜

ライフプランニング ～先輩たちの働き方～



中国語
wǒ shì
我是〇〇
私は〇〇です。
NY

日中交流の
活動に力を注ぐ
留学生のインタビューを
掲載

中面をCHECK!

日本と中国をつなぐ 交流の架け橋に

留学生として流通科学部で学びながら、
学内の「ぐろーばる広場」や福岡よかトピア国際交流財団で中国語を教えるなど、
さまざまな国際交流活動に参加する馬さんにお話を伺いました。

旬のひと

第7回

流通科学部流通学科3年

馬 倩倩さん

(中国の高等学校卒業後、福岡市内の日本語学校卒業)



中村の学びと国際交流の経験を通して
アジアで活躍できる人材になりたい

学内で実施している「ぐろーばる広場」の語学リーダー(中国語担当)として他の学生の中国語学習をサポートするだけでなく、学外でも福岡よかトピア国際交流財団が運営する「留学生から学ぶ外国語教室」で中国語クラスを担当している馬倩倩さん。外国語教室には20〜50代という幅広い年齢の方が通われているといい、馬さんは語学だけでなく中国の家庭料理を紹介して一緒に作るなど、さまざまな国際交流を楽しんでいます。

昨年9月には、日中交流センターが主催する「中国ふれあいの場」大学生交流事業にも参加。中村の学生チームのひとりとして、日本の文化を紹介するイベントを中国で行いました。「国際交流を通して、ひとりでも多くの方がお互いの国に『行ってみよう、言葉を勉強したい』『行ってみよう、言葉が勉強したい』と思うようになれば」と馬さん。母国語である中国語、すでに堪能な日本語と英語に加え、最近は韓国語も勉強中。「将来はアジアで活躍したい」とイキイキとした表情で語っていました。

CELERY | No.101

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】 2017.1.30 発行



02 ----- ライフプランニング ～先輩たちの働き方～

壽崎 明日香さん(介護老人保健施設 春風 管理栄養士)
櫻井 裕介さん(中村学園大学短期大学部 幼児保育学科 講師)
西村 友梨さん(福岡中央銀行 勤務)
寺崎 有里さん(久留米筑水高等学校 家庭科教諭)
三島 武さん(コカ・コーラウエストベンディング株式会社 勤務)

06 ----- Column1 この授業に注目!

「保育内容言葉」
幼児保育学科 川俣 沙織講師

07 ----- Column2 クラブ&サークル [バスケットボール部]

09 ----- GO!GO!PICKLES ナカムラ生の「咲かせたい花」

11 ----- 第50回霜月祭レポート

13 ----- 入試結果

14 ----- NEWS&TOPICS



01 / SUZAKI ASUKA



02 / SAKURAI YUUSUKE

Life Planning

特集

ライフプランニング
～先輩たちの働き方～



03 / NISHIMURA YURI



04 / TERAZAKI YURI



05 / MISHIMA TAKERU

「ライフプランニング」とは、人生設計を描いていくこと。充実した人生をおくるために、就職、結婚、子育て、そして老後……と、中長期的な計画を立てることです。

今号の特集では、「先輩たちの働き方」と題し、5名の卒業生の卒業後／現在取材。中村に入学する前から思い描いていた夢を実現した人、転職や移動によってさまざまな経験や実績を積みこみ、とでできた新たな夢を追いかけている人、専門性をさらに深めるために転職をした人、結婚・出産・育児を経験し、家庭でも職場で輝いている人など、卒業生たちの十人十色な卒業後の人生をご紹介します。

専門分野も異なるため5人の働き方はもちろんさまざまですが、共通して言えるのは、学生時代の夢や目標、卒業後すぐの就職先や職種、仕事内容はすべてではなくひとつの出発点であるということ。5人の働き方を垣間見ることで、卒業直後の就職だけでなく、長い人生を通しての働き方を考えるきっかけになるかもしれません。

複数の職場を経験することで 将来の目標が具体的になった

実際の現場を経験したうえで 管理栄養士になりたかった

最初に就職した病院では、厨房で調理を担当していたという壽崎さん。しかし、中村学園大学短期大学部に入学した当初から、将来的には管理栄養士になりたいと考えていたといいます。大学の栄養科学部であれば卒業と同時に試験を受けることができますが、大学への編入は考えなかったとのこと。「現場で経験を積んでから管理栄養士になりたいと思っていたので、短大を出てまずは働くことを選びました。管理栄養士になってからも、自分自身が調理の仕事を経験していたので調理師さんたちとも関わりやすいだけでなく、実際の作業工程が頭に入っているので、献立も立てやすいですね」と壽崎さん。働きながらの管理栄養士合格は大変な道のりだったようですが、「これまでの人生で一番勉強した」経験は貴重な財産になった様子。合格した今でも、福岡市が主催する管理栄養士の勉強会や講演会などに参加し、積極的な情報収集を行っています。

子育てが落ち着いたら 病院に勤務して勉強したい

調理の仕事から栄養士、そして管理栄養士へとステップアップしてきた壽崎さんですが、一昨年には出産も経験。産休・育休を経て、育児をしながら現在の職場では管理栄養士として、ケアプランの作成やカンファレンス、発注業務や利用者の食事モニタリングなどの業務を行っています。次の目標は、育児が落ち着いたら病院の管理栄養士として働くこと。病院で勉強して知識を増やし、最終的には在宅訪問の栄養士として、病院の少ない地域、病気を持っていながらも入院できないという方の支援を行っていきたいと考えています。「病院で働きたい、というのは最初は漠然とした目標だったのですが、複数の職場を経験するうちに、高齢者の方の在宅支援ができたと思うようになりました。入院中は良いのですが、『家に帰ると何を食べて良いのかかわからない』という方が多いということに気づき、サポートできればと感じたのがきっかけです」とイキイキとした表情を見せる壽崎さん。キャリアアップの過程で見つけたさらなる目標に向かい、勉強の日々は続きます。「ゆくゆくは独立してそうしたことができれば」と、夢はどんどん広がります。

すざき 壽崎 明日香さん

平成20(2008)年3月
短期大学部食物栄養学科 卒業
勤務先:介護老人保健施設 春風



- 福岡市内病院に入職
厨房業務(調理)を担当
- 給食委託会社に入社
福岡市内病院の栄養士として勤務
- 在職中に管理栄養士に合格
同病院事業所で責任者を務める
- 派遣の管理栄養士として
介護老人保健施設に勤務
- 「介護老人保健施設 春風」に入職
管理栄養士として勤務



現在の職場は、自分なりのやり方を実践できる環境。その分やりがいは大いとか

櫻井 裕介さん

平成11(1999)年3月
家政学部児童学科(現教育学部)卒業
勤務先: 中村学園大学短期大学部 幼児保育学科 講師



- ながずみ幼稚園に入職
幼稚園教諭として10年以上勤務
- 中村学園大学大学院教育学研究科に進学
- 福岡こども短期大学に入職
こども教育学科の講師として勤務
- 道都大学に入職
社会福祉学部の講師として勤務
- 中村学園大学短期大学部に入職
幼児保育学科の講師として勤務

02 / SAKURAI YUUSUKE

子どもたちと生活する現場から 保育者を育成する教育者へ

母校で保育・幼児教育に関われることに感謝

幼稚園教諭として12年間子どもたちと現場で接してきた櫻井さんは、保育・幼児教育についてもっと深めたい、経験としてだけでなく理論的にも語れるようになりたいと考え、母校である中村学園大学の大学院に進学。その後、保育者を育成する立場へと転身しました。中学生の頃から夢見ていた保育者としての仕事は本当に楽しく、実は今でも「現場で子どもたちと過ごしたい」という思いは消えていないのだとか。しかし、熱心に授業を受けてくれる学生たちの姿にやり



「幼稚園の時に櫻井先生にお世話になっていた」という学生も。まさに感動の再会!

がいを感じ、「これからは保育者を育てる教育者として現場に関わっていけたら」と奮闘しています。昨年の春から母校である中村学園で講師を務めていますが、自身が「中村流」の教育で保育者となったため、その学びに携わることが幸せだと語る櫻井さん。「形は違いますが、これからも保育の世界で生きていきたい」と決意を新たにしています。

03 / NISHIMURA YURI

預金窓口・資産運用の担当者として 育児と仕事の両立に奮闘中

必要とされる場所があることがうれしい

昔から人と話すのが大好きだという西村さんは、窓口業務にあこがれ福岡中央銀行に入行。その後、投資信託や保険といった資産運用も担当することとなり、お客様と信頼関係を結ぶことができるこの業務にやりがいを感じています。約1年半前には出産し、産休・育休を取得。当初は復職後の生活がイメージできず、「本当に仕事に戻れるのだろうか、育休まで取得させてもらって良いのだろうか」と悩んだそうですが、上司も育児中のため職場の理解・協力は完璧。現在は仕事と育児

西村 友梨さん

平成20年(2008)年3月
短期大学部家政経済科(現キャリア開発学科)卒業
勤務先: 福岡中央銀行



- 福岡中央銀行に入行
1年目の冬から窓口業務を担当
- 3年目に資産運用の担当者に
- 約1年半前に出産
産休・育休に入る
- 昨年9月に復職
以前と同様、窓口業務と資産運用を担当



中村でのさまざまな学びが、日々のお客様対応に活かされているといいます

の両立を実現しています。「学生時代には自分が結婚後も仕事を続けられるとは思っていませんでした。でも、実際にその時が来ると『あ、できる!がんばってみよう』と思い、一つひとつクリアして今に至っています」と西村さん。家族との時間を何より大切にしながらも、「自分を必要とってくれる場所が家以外にもあることがうれしい」と日々の業務に励んでいます。

管理栄養士と教員資格 両方を活かせる最高の仕事

「いつかはここで…」という夢を実現

「昔から料理が好きでパティシエなどに興味を持って高校は食物調理科に進学しましたが、最初から先生になりたいと目標を絞っていたわけではありませんでした」と笑う寺崎さん。現在の職場である久留米筑水高校の食物調理科は母校ですが、当時の恩師に「教員になって戻っていらっしゃい」と言われたことが頭の片隅にあり、気づけば教職課程を選択。管理栄養士の勉強との両立は大変でしたが、次第に教えることが楽しくなり、母校の教壇に立つことが夢になっていったといいます。



「早くベテランの先生方のような素晴らしい授業ができるよう勉強したい」と寺崎さん

卒業時は中村で1年間助手を務めました。その後は私立高校で教員としての経験を積み、福岡県公立学校教員の採用試験に見事合格。管理栄養士の資格も活かし、夢だった母校での教員生活をスタートさせました。「生徒でもあり後輩でもあるので、とてもかわいいです。教員としての経験をとにかく積んでいきたいですね。たくさんの経験をして仕事に活かせたらと思います」と新たな目標を語ってくれました。

寺崎 有里さん

平成23(2011)年3月

栄養科学部 卒業

勤務先:久留米筑水高等学校 家庭科教諭



- 中村学園大学に入職
助手として実習準備等を担当
- 私立中学・高校に入職
非常勤で中高家庭科を担当
- 私立高校に入職
常勤で家庭科・保育科目等と担当
クラス担任も受け持つ
- 福岡県公立学校教員採用
福岡県立久留米筑水高等学校に勤務
家庭科の調理を担当

三島 武さん

平成18(2006)年3月

流通科学部 卒業

勤務先:コカ・コーラウエストベンディング株式会社



- コカ・コーラウエスト株式会社入社
自動販売機オペレーションを担当
- コカ・コーラウエストベンディング株式会社に移籍
九州実行推進課に勤務

05 / MISHIMA TAKERU

現場での経験を今の部署で活かし 次のステップアップをめざす

5年以内に目標とする職種で戦力に

コカ・コーラウエストに入社したきっかけは、インターンシップの際、スーパーの営業担当者がお得意さまと信頼関係を築いている姿にあこがれたからという三島さん。そのため営業職に就くことが目標ですが、入社後9年間は自動販売機のオペレーション業務を担当。現在は、九州の自動販売機の売上目標を達成するために、企画側と現場との連結を担う九州実行推進課のスタッフとして、重要な裏方業務を担当しています。人と人をつなぐ難しい仕事ですが、9年間現場に従事した経験

が三島さんの大きな武器に。入社前に思い描いていた姿とは異なりますが、やりがいを感じています。「まずは現在の職務レベルを向上させ、より効率的に結果を出せる風土づくりに貢献すること。そして、5年以内にあこがれの営業職に戦力として就くことが目標です」と三島さん。一つひとつの経験を活かし、着実に夢への階段を上っています。



「コカ・コーラブランドを背負っているという自覚を持って行動している」という三島さん

この授業に
注目!

幼児保育学科 川俣 沙織講師

保育内容言葉

中村学園ならではの授業や学生に人気の授業など、ユニークな講義や実習を紹介します。

私たちは、お話の中に教訓やメッセージを見出し、それを伝えることで子どもたちを教育しなければ...と考えてしまいがちですが、「絵本や紙芝居を読む目的は、子どもたちにお話の楽しさを伝えるということ。子どもは自分で育つ力を元々持っているのだから、『教育をしなくちゃ!』と気負うのではなく、子どもと一緒に、純粹に楽しむことだけを考えて、お話を表現してほしい」と担当の川俣先生。そのことに気づいた時、学生たちの表現力は見違えるほどアップします。



**子どもの言葉の育ちを支える
「お話」の魅力と
それを表現する技術を学ぶ**

子どもたちはみな、絵本や紙芝居、素話といった「お話」が大好きです。この授業では、子どもがどういった発達過程を経て言葉の身に付けていくのか、子どもの言葉の育ちを保育者はどう支え、促すのかについて学習するとともに、絵本・紙芝居・素話の実演を通して「お話」を表現する技術を磨きます。



担当教員コメント

“お話”を通して子どもに何かを教えようとするのではなく、ただただ子どもと一緒に“お話”を楽しむ。そう考えると、絵本や紙芝居の読み方・表現は変わってきます。お話の前では大人も子どもも同じ人間。この授業を通して、“お話”に対する考え方、そして子どもに対する考え方が変わると良いなと考えています。



幼児保育学科
川俣 沙織講師



▶▶▶ Student's Voice

この授業では、単純な絵本の読み方だけでなく、立ち位置やページのめくり方など「そこまでするのか」ということまで教えていただけるので、毎回とてもためになっています。子どもたちにお話をわかりやすく伝えられる先生になりたいです。

幼児保育学科1年 吉瀬 寛子さん
(嘉穂東高等学校出身)



今回の講義では絵本の読み聞かせをグループで担当。空きコマや放課後もみんなで集まり、たくさんの参考文献の中からおすすめの絵本を選びました。いろいろな人の発表を聞くと新しい気づきがあり、とてもためになります。

幼児保育学科1年 坂井 里菜さん
(佐賀清和高等学校出身)





部員数は男子25名・女子45名の合計なんと70名。
大会に向け練習に励む『バスケットボール部』を訪ねました。

COLUMN

CLUB & CIRCLE

クラブ&サークル



大切なのは
上手いか下手かではなく
やる気があるかどうか



「技術がどうかではなく、大切なのはやる気があるかないか。やる気のある人にはぜひ来てほしい」と笑顔で語るのは、男女合同のバスケットボール部で部長を務める教育学部3年生の上田大貴さん。70名のメンバーの中には未経験者もいるのですが、誰もが大好きなバスケットボールをイキイキと楽しんでいます。部活の時間以外にもメンバー同士で遊びに出かけることが多く、男女・上下関係なく仲が良くの特長。皆で声を掛け合いながら練習に励んでいる様子が印象的でした。

7大学9サークルが参加する福岡県学生バスケットボール連盟に加盟しており、大会は年に4回。昨年11月に行われた「一年生大会」では決勝戦で惜しくも破れてしまいましたが、女子は2位という優秀な成績を残すことができました。女子がとても強いんですよ。でも男子も負けてられません！大会で優勝したいですね」と上田さん。70名のうち約30名が1年生ということもあり、これからますますの活躍が期待できそうです。



昨年12月11日(日)に開催された冬リーグは、優勝すれば全国大会に進むことができる大きな大会。男女とも残念ながら優勝は逃してしまいましたが、春リーグに向けて力を磨きます。



迫力ある練習風景は、眺めているだけでも飽きません。



練習は週に3日。男女とも大会前は特に気合が入ります。

YAKUZEN EXPO 2017

2017.9/1^金・2^土・3^日開催!

[場 所] 福岡国際センター、福岡国際会議場

[主 催] 中村学園大学、上海中医薬大学

中村学園大学は、2017(平成29)年9月1日から3日間、福岡国際センター・福岡国際会議場において「YAKUZEN EXPO 2017」(薬膳EXPO)を開催する運びとなりました。「YAKUZEN EXPO 2017」は、現代社会において人々の食の営みを、もう一度食の原点にもどってながめてみようというコンセプトで開く博覧会です。本学は、2006(平成18)年12月に大学が主催する日本初の薬膳博覧会として、「2006年日中薬膳・機能性食材博覧会」を開催し、社会の皆様へ「薬膳の可能性」を発信することができました。その後、国内では機能性表示食品制度が始まり、科学的な根拠に基づいた食品の安全性や機能性が求められる時代となりました。このような社会的ニーズに応える食のスペシャリストを育成するため、2017(平成29)年4月には中村学園大学栄養科学部にフード・マネジメント学科を開設いたします。

「YAKUZEN EXPO 2017」では、食がもたらす健やかな暮らしを育むことを『生きる』という言葉に込めて、更に進化した「日本型薬膳」をライフステージごとの食のテーマに取り上げ、健康や医療、住環境など関連する分野との繋がりを、楽しみながら学べる参加型の展示会、シンポジウム、市民公開講座など盛りだくさんの内容を用意いたしております。開催期間中は1万名以上の来場を予定しており、アジアを始めとした世界の国々からも広く参加を要請し、新たな食とビジネスのグローバルネットワークを発信して参ります。皆様方のご来場をお待ちしております。

※詳細につきましては、公式ホームページをご参照ください。また本誌次号からもご紹介いたします。

開催概要

[名称] YAKUZEN EXPO 2017

[構成] 展示会、薬膳シンポジウム、高校生・大学生の企画によるシンポジウム、市民公開講座 など

[日程] 展示会／2017年9月1日(金)～3日(日)

シンポジウム／2017年9月1日(金)・2日(土)

市民公開講座／2017年9月2日(土)

[場所] 展示会／福岡国際センター シンポジウム・市民公開講座／福岡国際会議場

[主催] 中村学園大学、上海中医薬大学



[前回(2006年)の様子]



YAKUZEN EXPO

YAKUZEN EXPO 2017 事務局(中村学園大学内)

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 (TEL) 092-851-2516 (FAX) 092-841-7762

(E-mail) yakuzen2017@nakamura-u.ac.jp (HP) <http://www.yakuzen-expo.jp>

Go!Go! Pickles

ナカムラ生の「咲かせたい花」、
聞いてみました!

たくさんの
学生に声をかけて、
みなさんの想いを
書いてもらいました!

この取材を企画した
PICKLESメンバー
【写真上・左から】
流通科学部4年 高尾 弥紗樹さん
流通科学部2年 林 克樹さん
栄養科学部2年 深江 美帆さん
【写真下・左から】
キャリア開発学科2年 綾戸 夏美さん
流通科学部3年 中野 綾子さん



努力の上に

花が咲く

中村生なら誰もが知っている
中村ハル先生の言葉。
それぞれが描く、
咲かせたい花を聞きました。
みなさん、日々の努力の上に
きれいな花を咲かせましょう。



是久 優奈
(キャリア開発学科2年)



西田 一貴
(流通科学部1年)



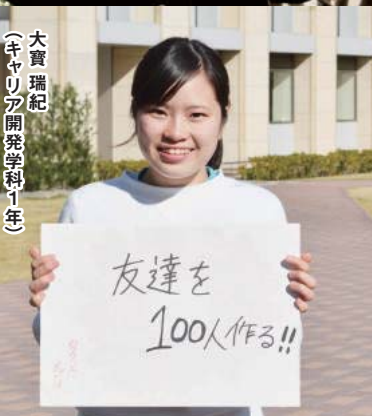
渡辺 康太
(教育学部4年)



田中 梨花
(幼児保育学科2年)



大寶 瑞紀
(キャリア開発学科1年)



久保 美優
(キャリア開発学科2年)



井上 遥
(幼児保育学科2年)



丹野 さつき
(幼児保育学科2年)



立野 理沙
(教育学部4年)



上野 佑斗
(教育学部2年)



岩切 一泰
(教育学部3年)



村野 友佳理
(教育学部3年)

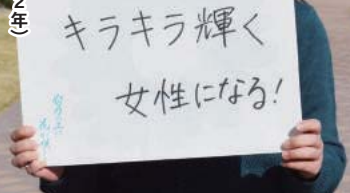


3月にPICKLESメンバーの4名が卒業予定です。

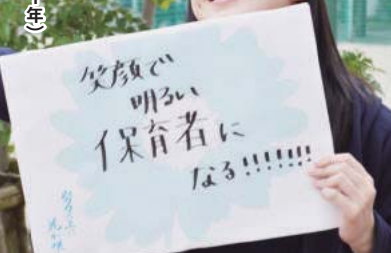
大津 涼太郎
(流通科学部 4年)



綾戸 夏美
(キャリア開発学科 2年)



今村 颯希
(幼児保育学科 1年)



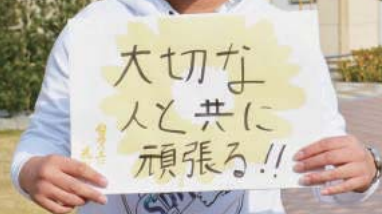
末永 啓人
(流通科学部 1年)



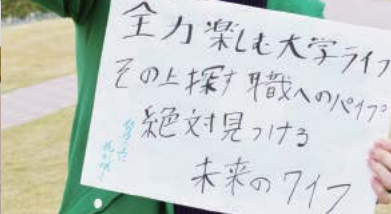
山道 奈緒
(栄養科学部 4年)



高尾 弥沙樹
(流通科学部 4年)



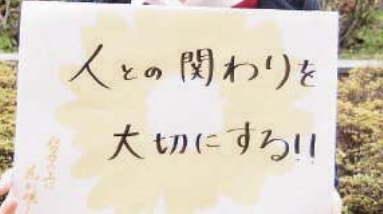
井上 憲
(流通科学部 1年)



里 俊輔
(流通科学部 1年)



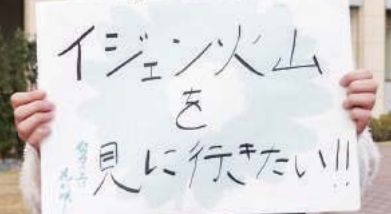
岩切 慶子
(栄養科学部 4年)



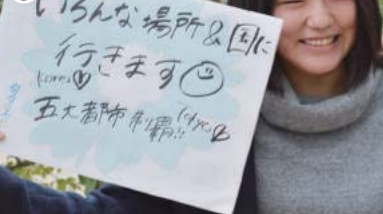
近藤 美沙季
(栄養科学部 1年)



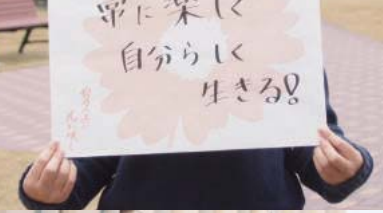
吉田 優希
(栄養科学部 1年)



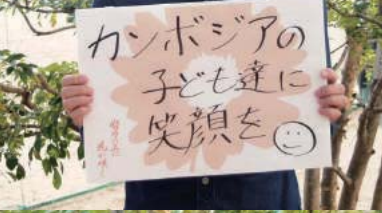
齊藤 七海
(幼児保育学科 1年)



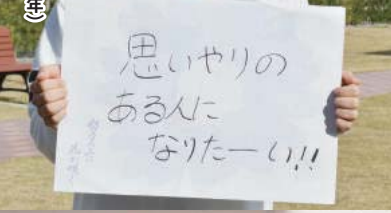
松口 実可子
(幼児保育学科 1年)



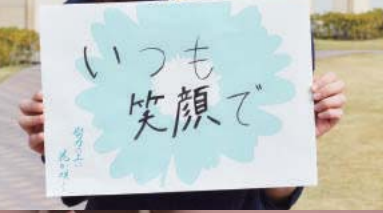
大塚 研太
(教育学部 4年)



芹田 佳奈
(キャリア開発学科 1年)



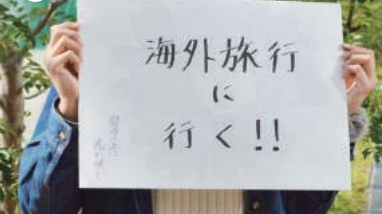
倉員 つくし
(食物栄養学科 2年)



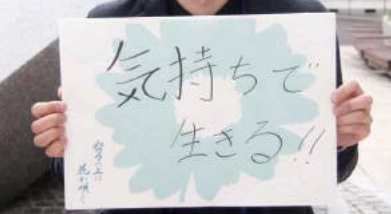
城丸 将治
(流通科学部 4年)



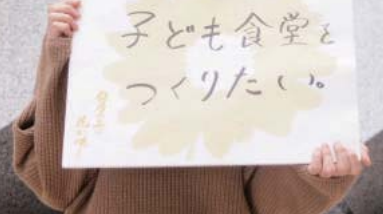
須崎 遥香
(食物栄養学科 2年)



村川 晃基
(栄養科学部 3年)



渡邊 紀子
(栄養科学部 3年)





ステージイベント

野外ステージでは、毎年人気の「のど自慢」や「N-1グランプリ」、学内No.1カップルを決める「Nakaっふる」をはじめ、フラダンス部や和太鼓部による迫力あるショーも。また、体育館内のステージでは、恒例の「ミスキャンパスコンテスト」や「王子様コンテスト」、「ダンスコンテスト」に加え、さまざまなパフォーマンスが登場する新企画「SHOWケース」も開催され、大いに盛り上がりしました。



SUKISAI

月祭

・4(金)・5(土)



みんな～
応援してくれて
ありがとう♡

ミスキャンパス2016に輝いたのは、
栄養科学部4年生の原田夏帆さん。
元気で明るく、
笑顔が素敵な人気者で、
客席からはたくさんの声援が
送られていました。



2016年の霜月祭は、なんと記念すべき50回目！

「50祭～君に伝える5つの味～」をテーマに、食事を楽しむうえで大切な「5つの味」を、それぞれ「甘味＝愛」「酸味＝青春」「塩味＝絆」「苦味＝根性」「うま味＝自信」と表現したユニークなコンセプトのもと開催されました。「来ていただいた方たちに、そして後輩たちにこの5つの味を伝えたい!」。学生たちの想いが詰まった50周年の霜月祭は、地域の方々も集う賑やかな3日間となりました。



子どもたちにも
人気だった
プラバン作り。



茶道部による
「霜月茶会」は、
たくさんの方に茶道を
知っていただく
良い機会に♪



展示・ステージ部門



書道部(作品展示)



アコースティックギター
(演奏)



教育学部・井上ゼミ
(作品販売)



模擬店

中村の学生だけでなく、子どもから年配の方まで多くの方が楽しんでいる姿が印象的だった模擬店。どのサークルやゼミもさまざまな美味を提供し、人気を博していました。



「チームアスバラ」考案の中村学園オリジナルグッズも販売!特に小石原焼とコラボしたオリジナルの茶碗が大人気となったようです。

みんなで力を合わせて
取り組む霜月祭は
学生時代の大切な思い出♪



フードバザー部門



薬膳・食育ボランティア部
(薬膳カレー・甘酒ゼリー)



食物栄養学科・内田ゼミ
(かしわおにぎり)



学園祭実行委員会
ステージパート(じゃがもち)

毎年大好評!
中村自慢の学祭グルメは
どれも美味しいよ〜



和太鼓部
「輝来響楽座」の
演奏はいつも気合十分!

SHIMOT

第50回

霜

11/3(木・祝)

この日のために
一人ひとりが精一杯
準備しました!



展示・企画

書道部や華道部による本格的な展示も毎年大好評。
学生たちにとっても、
普段の活動の成果を発表する良い機会となっています。
また、「お化け屋敷」や「ちびっこパーク」も
たくさん子どもたちで賑わいました。



食育館でもアコースティックギター同好会による
演奏やクリスタルハーモニーによる
ミニコンサートを開催。
模擬店で購入したカレーやおにぎり、
わたがしなどを食べながら、
たくさんの方が心地よい音楽を楽しんでいました。



推薦入試合格者対象 4月入学予定の高校生に入学前教育を実施

本学では、入学までの期間に専攻分野の事前の基礎学習を行うことによって、高校から大学の学びへスムーズに移行できるよう、入学前教育を実施しています。また、入学予定者の不安を解消するために、プレカレッジを実施し、入学後の学修や疑問点を直接説明する機会を設けています。



12月17日、流通科学部、短期大学部食物栄養学科、キャリア開発学科、幼児保育学科において、プレカレッジが開催されました。各学科の入学予定者が参加し、模擬授業や在学生との交流などによって、入学後の学修について理解を深めました。

平成29年4月開設 フード・マネジメント学科でもプレカレッジを開催

12月26日、平成29年4月開設の栄養科学部フード・マネジメント学科においても、プレカレッジが開催されました。第一期生となる入学予定者および保護者が参加し、学科の概要や入学前の課題について説明を受けました。また、語学学



校「ベルリッツ」によるデモレッスンや、グループワークや発表などのアクティブラーニングを体験し、参加者同士の交流や積極的な発言が見られ、学習意欲の向上につながったようです。2月には、基礎学力アップのための入学前準備講座が催される予定です。

平成28年11月末現在

平成29年度 入試結果

※競争率は、受験者数／合格者数(少数点第3位以下を四捨五入)

●中村学園大学(推薦入学選考)

学部・学科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学部 栄養科学科	公 募	50	124	123	62	1.98
	併設校	20以内	20	20	19	1.05
	指定校	20	26	26	26	1.00
栄養科学部 フード・マネジメント学科	公 募	20	32	32	28	1.14
	併設校	10以内	10	10	10	1.00
	指定校	15	29	29	29	1.00
教育学部 児童幼児教育学科	公 募	65	149	149	89	1.67
	併設校	15以内	15	15	14	1.07
	指定校	20	21	21	21	1.00
流通科学部 流通科学科	公 募	20	48	48	27	1.78
	併設校	20以内	21	21	21	1.00
	指定校	70	114	114	114	1.00

※栄養科学部フード・マネジメント学科は平成29年4月開設

●中村学園大学短期大学部(推薦入学選考)

学 科	区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	公 募	15	44	44	27	1.63
	併設校	4以内	4	4	4	1.00
	指定校	40	33	33	33	1.00
キャリア開発学科	公 募	10	25	25	18	1.39
	併設校	10以内	10	10	10	1.00
	指定校	90	108	107	107	1.00
幼児保育学科	公 募	80	89	89	81	1.10
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	60	87	87	87	1.00

今後の入学試験のお知らせ(2~3月 出願受付分)

詳細は本学ホームページにて
(<http://www.nakamura-u.ac.jp/admission/>)



●中村学園大学

種 別	学 部	学 科	募集人員	願書受付期間	試験日	合格発表日
試験入学選考 (後期日程)	栄養科学部	栄 養 科 学 科	5	平成29年 2月13日(月) ~2月23日(木)	平成29年3月4日(土)	平成29年 3月9日(木)
		フード・マネジメント学科	5			
	教育学部	児童幼児教育学科	5			
		流 通 科 学 科	5			
大学入試センター試験 利用入学試験 (後期日程)	栄養科学部	栄 養 科 学 科	3	平成29年 2月13日(月) ~3月1日(水)	・平成29年度大学入試センター 試験の成績を基に判定を行う。 ・本学の個別学力試験は課さない。	
		フード・マネジメント学科	3			
	教育学部	児童幼児教育学科	5			
		流 通 科 学 科	3			

「海外旅行企画コンテスト」優秀賞を受賞 「食物栄養学科 津田ゼミ」

10月15日、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）九州支部主催の「第1回訪日旅行企画提案コンテスト」に津田ゼミ生が参加し、優秀賞を受賞しました。

食物栄養学科津田晶子ゼミ生9名は、海外の食文化の調査や柳橋連合市場見学などを行い、リサーチや発表のスキルを学んできました。その集大成として、「訪日外国人旅行者を九州全域に」というテーマで、同コンテストに参加しました。企画内容は、外国からの旅行者自身が九州各地で手に入れた食材で、日本の伝統的な食事形態である一汁三菜の昼食を作りながら、キャンピングカーで移動する「九州のうまかもん、食べてみらんね」ツアーというものです。ゼミ生全員で企画し、代表の5名が企画発表、4名が応援を行いました。

審査の結果、みごと優秀賞（副賞5万円）の旅行券、スーツケース1個）を受賞することができました。日々の授業に加え、職業活動や編入試験など、時間が合わず、資料作成や発表準備



が大変でしたが、栄養士を目指す立場からの発想や独自性のアイデアを出し合えたこと、一人一人が責任を持って取り組みめたことが受賞につながったと思います。

この経験を活かし、卒業後は高度なリサーチ力とコミュニケーション能力のある栄養士として活躍したいと思っています。
レポート 食物栄養学科2年 須崎 遥香



Nプロジェクト第1弾 「城南寮クリスマスイルミネーション点灯式」



12月1日、中村学園大学城南寮にてクリスマスイルミネーション点灯式が行われました。この企画は、大学が公募した、学生と地域との交流事業「Nプロジェクト」に採択されたもので、城南寮生が約3カ月前から準備を行ってきました。点灯式

当日は、多くの地域の方々が集まり、イルミネーションを楽しみました。また、寮生が手作りのおしるこのふるまいや、プレゼント抽選会を行い、地域の方々との交流が深まりました。イルミネーションは12月25日まで点灯され、地域を彩りました。



うきは市と連携協定を締結

12月21日、中村学園大学・中村学園大学短期大学部は、福岡県うきは市と連携協定を締結しました。



福岡県うきは市から、高木 典雄市長のほか関係者5名が来学され、中村理事長から歓迎の挨拶があり、懇談の後、特産物や記念品の交換が行われました。その後、会場を変え、各学部の代表が同席する中、高木市長、甲斐



学長から連携協定に対する期待が述べられ、協定書が取り交わされました。

今回の協定は、文化・教育・健康増進・流通科学・学術等の分野で協力し、地域ならびに大学の相互発展に寄与することを目的としており、「地域に根差した人材育成」について更なる期待が込められています。

『お茶風呂パック はいりん茶い』を産学連携で商品開発
流通科学部 手嶋ゼミ

12月16日、流通科学部・手嶋ゼミ生が、Hakata銘品蔵デイトス店にて、商品開発をした『お茶風呂パック はいりん茶い』のPR販売を行いました。

この商品は、福岡県の特産品である八女茶を利用した天然入浴剤で、カジュアルな福岡土産として手軽に購入・利用することができるよう、パッケージに博多弁のメッセージを用いたプチギフトです。ゼミ生たちは家庭での消費量が減少している茶業界に着目し、八女茶を使った手軽でユニークな商品を開発することで、八女茶の認知度・消費量のアップに寄与したい、とJR九州リテール株式会社、西福製茶株式会社と共同で商品開発に取り組んできました。

リーダーの笹栗理子さん（流通科学



部4年）は、高校3年次に手嶋ゼミ生による商品開発の新聞記事を見て、「私も大学で商品開発をしてみたい！」と思い、流通科学部に入學。4年間、目標に向かって努力を重ね、念願だった商品開発の夢を叶えました。PR販売では、「自分たちが開発した商品で、一人でも多くの方に八女茶の魅力が伝わるようPRしたい」と多数のメディア取材や来店客に商品説明を行いました。



城南区民対象の「基礎EXCELL講座」を開催
流通科学部 木下ゼミ

12月17日、流通科学部の学生による城南区民対象の基礎EXCELL講座が開催されました。本講座には、応募者多数の中から抽選で23名の城南区民の方が参加されました。



本講座は、流通科学部木下ゼミ3年生の矢井榛香さんをプロジェクトリーダーとして、半年ほど前から計画を進め、オリジナルの教科書と教材を作成し、当日はリーダーの矢井さんが講師

として授業を進め、その他の学生が助手として受講者のサポートを行ないました。同日、流通科学部では、来春入学予定の高校生160名が訪れ入学前教育に参加して



おり、本講座を見学し、大学生の地域貢献の実態を学びました。

普段から培ってきたITの知識を活かし、中村学園の学生らしいホスピタリティの精神で、受講者のみなさまと有意義な時間を共有することが出来ました。

第25回 アジア栄養科学ワークショップ
「効果的な健康リスクマネジメント」

12月17日、第25回アジア栄養科学ワークショップが開催されました。このワークショップは、毎年栄養科学研究科主催にて大学院生をはじめ、学部生、教職員、学外研究者、市民等を対象に企画され、アジアにおける食と栄養の現状について最先端の研究結果の発表や討論が行われています。今回は3名の講師を招聘し、「効果的な健康リスクマネジメント」



をテーマに研究結果が発表されました。

講演1

「食事と脳卒中および認知症の関係：久山町研究」

九州大学大学院医学研究院
衛生・公衆衛生学分野 教授
附属総合コホートセンター 教授 二宮 利治 先生

講演2

「健康寿命と健康寿命（けんこうかい）」

同志社大学
スポーツ健康科学部 教授
体力医科学研究センター長 石井 好二郎 先生

講演3

「スリランカにおける生活習慣病の予防：子どもは親を変えられるか？」

国立国際医療研究センター
疫学・予防研究科長 溝上 哲也 先生



国際
交流

平成28年度 中村学園元留学生会開催

11月12日、中国遼寧省大連市の日航飯店で平成28年度中村学園元留学生会が開催され、本学から中村理事長をはじめ3名が出席しました。元留学生は、大連市内をはじめ、瀋陽市、上海市、遠くは日本から計10名が出席し、再会の喜びや卒業後の近況などを語り、交流を深めました。

元留学生の皆さんは、卒業後、中国で起業した人、日系企業で働いている人、サービス業に就いた人など、大学時代に中村学園で学んだことを活か

しながら、様々な分野で活躍しています。

元留学生会長の于さんは、今後さらに連絡網を広げ、大連以外の都市でも開催し、中国の各地域から参加できるようにしていきたいと期待を述べました。



国際
交流

さくらサイエンスプラン インドネシア訪問団との交流

11月15日、公益財団法人福岡アジア都市研究所による「さくらサイエンス事業」の一環として、インドネシアの学生訪問団が来学し、本学の大学院栄養科学部研究科の院生および栄養科学部の学部生との交流会及び栄養科学に関する教育研究の現状視察が行なわれました。日本の福祉・健康分野における取組の紹介として、食育館の一汁三菜ランチの体験や、電子顕微鏡室の見学を実施し、院生および学部生と交流を深めました。



国際
交流

ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ 名誉総長による表敬訪問

平成28年8月、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジと中村学園大学は包括連携協定を締結しました。カピオラニ・コミュニティ・カレッジは調理学部を有しており、日本からも多くの留学生を受け入れています。9月17日、リチャーズ名誉総長が表敬訪問され、キャンパスを見学されました。今後、「ダブルディグリー」の実施にむけた協定の締結に向け、具体的な協定内容が協議される予定です。



※ダブルディグリーとは……本学に在籍しながら、海外の大学に留学しそれぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することによって、両大学の学位を取得できる制度。

国際
交流

東元大学校との 国際交流協定を締結

10月14日、大韓民国 東元大学校 (Tongwon University) より牟榮基総長をはじめとする関係者が来学され、国際交流協定の調印式が行われました。東元大学校は1993年に設立された7学部を擁する大学です。今後、両大学で実現可能な交流内容等を検討し、交流を深めていく予定です。なお、本協定に基づき、1月中旬～2月上旬の期間、東元大学校より10名の短期研修生が来日し、日本語や日



本文化について学ぶ予定です。

Q-conference2016 「初志を磨く〜Relay our Batons〜」

12月10日、本学4号館にてQ-conference 2016「初志を磨く〜Relay our Batons〜」が開催されました。Q-conferenceはQ-JINKS(九州地域大学教育改善F・D・SDネットワーク)の賛同校による年に一度の活動報告会で、大学間連携による人的ネットワークの構築や情報共有を通じて、各高等教育機関における学習・教育の改善が推進されることを支援し、教育活動の向上と発展に寄与することを目的として行われています。



はじめに、本学学生によるランチセッションが行われ、本学の沿革や特徴、スチューデントジョブ制度について紹介し



ました。参加者には、食物栄養学科が準備したオリジナルランチボックスが限定販売されました。

オープニングセッションでは甲斐学長による歓迎の挨拶が述べられ、ポスターセッションでは、『F・D・SD』、『学生活動』、『地域との連携活動』等、バラエティに富んだポスター発表が行われました。また、毎年恒例のシエスタ(休憩)タイムでは食物栄養学科の学生が手作りのアップルタルトが振る舞われました。

続いて東京工業大学教育革新センター 渡辺雄貴准教授、崇城大学総合教育センター 大嶋康裕准教授、福岡教育大学財務企画課 小葉辰郎主査の3名が登壇し、「誰が『学び』を教えるのか」をテーマに企画セッションが行われ、会場の意見を巻き込んだ討論が繰り広げられました。この日はS・J(スチューデントジョブ)が運営を担ったほか、食物栄養学科生によるもてなしや併設校の中村学園女子高生徒によるポスター発表など、本学園の特長を生かしたカンファレンスとなりました。



第43回公開講座

『楽しい人生をおくるために』

公開講座は地域との共生という観点から、大学開放活動の一環として市民の方々に本学の教育・研究の成果を還元し、交流を深める目的で毎年開催されています。第43回目を迎える今年度は、『楽しい人生をおくるために』をテーマに、左記の内容でA・Eの5コース(5日間・計8講座)で開催し、延べ550名が参加されました。



■開講式(挨拶)

学長 甲斐 諭

■Aコース 10月8日(土)

「食でストレス緩和を ―嗜好性飲料って効果があるの?―」 栄養科学部 教授 太田 英明
「長寿と食を科学する ―楽しく健康な人生を送るための食生活について考える―」 栄養科学部 准教授 安武 健一郎

■Bコース 10月29日(土)

「地域活性化のマーケティング ―いくつかの事例を通じて―」 流通科学部 教授 片山 富弘
「人生を楽しむマナー」 短期大学部キャリア開発学科 講師 藤島 淑恵

■Cコース 11月12日(土)

「いきいき動作で、楽しい人生を」 教育学部 教授 吉川 昌子

■Dコース 11月26日(土)

「日本語学から「絵本」をみる ―子どもから大人まで楽しめる絵本の選び方・楽しみ方―」 短期大学部幼児保育学科 講師 川俣 沙織
「18歳選挙権と若者の政治意識 ―戦後の日本における主権者教育の軌跡―」 短期大学部幼児保育学科 講師 橋本 一雄

■Eコース 12月3日(土)

「調理のススメ ―冬野菜を活用して健康管理―」 短期大学部食物栄養学科 教授 三堂 徳孝

各コースの開催報告記事は、本学ホームページ「イベント開催報告」に掲載しています。
(<http://www.nakamura-u.ac.jp>)

教員の表彰

平成28年度栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰

平成28年10月、阿部志磨子教授（食物栄養学科）が、栄養士養成功労者として厚生労働大臣表彰を受けました。この表彰は、栄養士・管理栄養士養成施設の設立者、施設長または教職員であつて栄養士・管理栄養士の養成のため特に顕著な功績のあつたと認められる者に対し厚生労働大臣が行うものです。



阿部教授は、本学において26年間にわたり栄養士・管理栄養

平成28年度 受託研究・共同研究等の採択状況

研究寄付金

〔研究者〕 甲斐 諭（流通科学研究所）
〔研究課題名〕 中村学園大学流通科学研究所活動支援
〔研究期間〕 平成28年度
〔企業名等〕 九州機販株式会社
〔交付予定額〕 300,000円

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載※肩書き等は発行日現在のもの



『流通ビジネスの新展開』

甲斐 諭	流通科学部	教授	編著
浅岡由美	流通科学部	教授	共著
片山富弘	流通科学部	教授	共著
山田啓一	流通科学部	教授	共著
近江貴治	流通科学部	准教授	共著
徐 清	流通科学部	准教授	共著
手嶋恵美	流通科学部	准教授	共著
中川 隆	流通科学部	准教授	共著
中村芳生	流通科学部	准教授	共著
朴 晟 材	流通科学部	准教授	共著
明神実枝	流通科学部	准教授	共著
中川宏道	流通科学部	講師	共著
太田千穂	栄養科学部	講師	共著

（五紘舎 平成28年11月）



『新・血栓止血血管学-抗凝固と線溶-』

津田博子
栄養科学部 教授 共著
（金芳堂 平成27年10月）



『日テレ News24 Englishで考える日本事情』

津田晶子
食物栄養学科 准教授 共著
（英宝社 平成28年11月）

一般社団法人 日本臨床検査医学会 功労会員称号授与



平成28年9月、津田博子教授（栄養科学部）が、血栓症の病態解明研究などにより、永年にわたり日本臨床検査医

士教育の基礎分野を担当し、学生の指導に熱心に取り組んで来られました。また、健康増進センターにおいて、本学栄養系学生に対する「栄養学的調査」を長期にわたって担当、さらに地域住民の健康・栄養支援、特に肥満者の減量支援に多大な貢献を果たすなど、学生の教育および学術研究の功績を高く評価されました。

教職員の動き

学会学会の発展に多大な貢献を果たしてきたことから、同会における功労会員の称号が授与されました。

◎配置換え人事

（平成29年1月1日付）
教務部係長 小柳 大樹
（学生部係長）

◎退職人事

（平成28年12月31日付）
教務部課員 琴岡 貴絵
（平成29年1月3日付）
学術情報部課員 岩尾信太郎
（平成29年1月31日付）
教務部課員 山口 裕郷



中村調理製菓専門学校 調理師科夜間コース

大学・短大で学びながら、調理技術の向上と、調理師免許の取得をめざす。



幅の広がる就職



選べる通学日数



大学に合わせた授業時間とカリキュラム



便利な無料送迎バス



姉妹校ならではの割安な学費

中村学園大学・
中村学園大学短期大学部の
姉妹校ならではの
メリット

問い合わせ先 中村学園大学 学生部・生活支援課（パンフレットも設置しています）



中村学園大学
中村学園大学短期大学部

予約不要

入退場自由

保護者の方も大歓迎

OpenCampus

Spring2017

3.18 土

10:00~15:30

個別相談



模擬授業



サークル
紹介



在学生との
交流



ナカムラを体験してみませんか？
みなさんのご来場お待ちしております！

※プログラム内容は、都合により変更になる場合があります。

その発見
フード・マネジメント

2017年4月 栄養科学部

学科説明会・個別相談もあります！

「フード・マネジメント学科」開設

(入学定員100名)

お問合せ先

入試広報部／〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

TEL.092-851-6762 (直通) [URL]http://www.nakamura-u.ac.jp/ [E-mail]nyushi@nakamura-u.ac.jp

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関のご利用をお願いいたします

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎号送付しています。

[申込先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

公式 facebook ページ

